

編集と発行



### 金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話☎2111(代表)内線40

21世紀の  
担い手たち

## 学校田の収穫に感謝して

# 親子もちつき大会



毎年恒例となった嘉瀬小学校「親子もちつき大会」が去る十一月五日、同校体育館で開かれ、学校田の収穫に感謝しながらつきたてのもちを味わった。

同校では今年をはじめ嘉瀬農協青年部指導のもと、児童の体験学習用として学校田四アールを開墾。今年、この学校田から収穫された二俵半のうち、一俵を五・六年男子児童がつきあげました。父母が見守る中、子供たちがきねを振り下ろすと、体育館内は「ヨイシヨノ、ヨイシヨノ」の声援で大にぎわい。

仕には、つきたてのおもちが入った雑煮、おしるこに舌鼓み——自分たちの学校田で収穫したもち米だけに、喜びもひとしおだったようでした。

新年をまもなく迎えるにあたり、子供たちのように明日を力強く、たくましく生きていきたいものです。

全町民よいお正月を。

### 主な内容

- 町民文化祭&産業まつり開催……………2～3 P
- 勤続従業員を表彰(商工会)……………4 P
- 嘉瀬老人クラブ～手づくりぞうきん贈る……………4 P
- 西村万吉氏東北地区子供会より表彰……………4 P
- 町福祉大会盛大に終了…5 P
- 幼年消防クラブへ感謝状贈呈……………5 P

- 喜良市小「緑の少年団」結成する……………6 P
- 川倉小・金木小一入浴らし老人を招待する……………6 P
- 花屋会～「静和園」慰問する……………6 P
- 金木農協やさい生産部会2つの大賞に輝く……………7 P
- 将棋大山名人講演会……………7 P
- 金木病院カルテ……………8 P
- 戸籍の窓……………8 P

### 人口と世帯

	11月末日現在	前年同月比
男	6,538人	-121人
女	7,111人	-98人
計	13,649人	-219人
世帯数	3,911	-12

≈ 延べ3,500人の町民で賑う ≈

# 第14回町民文化祭 & 第8回 金木町 産業まつり

## 今年は「消防広場」も同時開催

恒例の町民文化祭と金木町産業まつりが去る十一月二日から三日間、中央公民館と農業トレーニングセンターで開かれ、水稲の冷害を克服すべく盛りだくさんの展示内容で、期間中延べ三千五百人余りの町民で大いに賑わいをみせた。

中央公民館では、保育所や児童館、幼稚園児らによる遊戯などの学芸発表が行なわれたほか、一般町民作品展、ぬり絵コンテスト、お茶会、工芸品制作体験コ

ーナリ、太宰ティスコ・コンテスト、子供マンガ映写会、交通安全カラオケ大会、津軽風ブレゼントコーナーなど多彩の内容。

また、農業者トレーニングセンターでは、豊年餅つき大会、本年度誕生児への苗木贈呈、農林産物品評会、高齢者活動紹介コーナー、野菜の即売など産業まつりが中心に行なわれた。また、北五歯科医師会の協力による、歯の無料診断や、消防署前では、はしこ

車搭乗体験、一日レンジャー体験など、消防広場」を開設。普段体験できない催し物に大人から子供まで楽しむことができた今年のまつりとなった。



▲大盛況だった交通安全カラオケ大会



▲食堂部のかっച്ചたちも大忙し…



▲さき織、籐工芸の制作体験コーナー



▲ぬり絵コンテストコーナー



▲みごとな籐工芸品展示コーナー



▲かわいい園児たちの学芸発表会



▲津軽風抽選会場



## 産業まつりの部



▲なんと42kgもあるオバケかぼちゃにびっくり!



▲"もちつき"をすの大橋町長



▲たくさんの人で賑った産業まつり会場



▲小学生将棋大会



▲北五歯科医師会協力による  
"歯の無料診断"コーナー



▲消火体験コーナー

消防広場の部

来年はきつと……  
大豊作まちがいなし!



▲腕用ポンプ体験コーナー



▲レスキュー体験コーナー

冷害を克服すべく  
多彩なまつりとなる——。

## 文化祭の部



▲盆栽展示コーナー



▲町民書道コーナー



▲俳句コーナー

# 永年の功勞に感謝 商工会で94人を表彰する



▲今商工会長(中央)より感謝状を贈呈される受賞者(右)



▲勤続30年表彰された浅田さん(左)と中西さん(右)

金木町商工会(今誠康会長)では、昭和四十年から毎年文化の日に町内の商工業発展に寄与した従業員に対し、感謝状を贈り永年の功勞を讃えています。今年も去る十一月三日、商工会館で表彰式が行なわれ、九十四人の方々が表彰されました。

受賞者は次のとおりです。

▼勤続三十年 浅利勝義(田村金物店) 鳴海賢(中谷金物店) 中西たけ(又一製材) 浅田ツヨノ(同) ▼同二十年 今彦衛(野呂電気商会) 葛西尚身(金木自動車学校) 上野兼孝(津軽木材) 工藤孝(同) 藤元マツエ(又一製材) ▼同二十年 豊川善賢(野呂電気商会) 中谷徳造(津軽木材) 白川ヤエ(同) 一戸幸子(尾野病院) 中村健男(小林燃料店) ▼同十五年 萩岡信雄(今与建

設) 桑田タツエ(白兼ストア) 三上立美(金木自動車学校) 桑田昭夫(同) 田中尚子(津島印刷) 大川千代作(津軽木材) 秋田谷キノ(同) 中谷幸(同) 荒井春美(尾野病院) 白川フミエ(同) 藤元タマ(同) 沢田テル(同) 田中ツエ(同) ▼同十年 吉田則昭(木村製材) 山中クニ(オサナイ洋品店) 津島みどり(白兼ストア) 白川覚(野呂電気商会) 成田則夫(金木自動車学校) 工藤昭美(同) 工藤陽子(津島印刷) 吉田清克(藤元石油) 桑田ハルエ(京染の白川) 平山昭子(斜陽館) 鈴木澄子(同) 泉谷国博(津軽木材) 工藤伊津(同) 野上ヒロ子(尾野病院) 尾野実(同) 鳴海栄美(同) 加藤留理子(同) 松尾ツサ(同) 下山正美(同) 木下ツヂエ(いわま仕出し店) ▼同五年

○年末年始の買物は町内の店で買い求めましょう!  
○年末年始の宴会は町内で実施しましょう!

境谷洋子、石戸谷せつ子、上野兼四郎、藤元昭逸、工藤準子、角田宏子、斎藤千万次郎、田中初枝、田中隆幸、葛西万里子、泉谷厚一、村山裕樹、尾野江公代、吉崎禮子、坂本嘉千代、桑田つさ子、工藤千鶴子、長谷川久江、斎藤繁利、桑田明、小田桐京子、小林達英 ▼同三年 長尾久枝、磯野則子、大橋容子、白川タケ、浜田フサ、秋元英公子、白川キサ、佐々木日佐子、太田ひとみ、今きみ子、外崎久子、徳田松枝、伊藤弘子、木村加津子、木田郁子、伊藤直子、泉くにこ、今タミ、桜井あい子、片山フジエ、竹内留己子、大橋幸代、工藤幸子、宮越元子、工藤秀子

## 祝 西村万吉氏に東北地区子ども会連絡協議会長表彰



去る十一月五日、福島県において東北地区子ども会育成連絡協議会大会が開かれ、西村万吉氏(金木町子ども会育成連合会会長)が指導者育成の部で同協議会より「東北地区子ども会育成連絡協議会長表彰」を受けました。

これは同氏が長年にわたる親と子の集いや環境美化運動など継続して活動を展開し、子ども会リーダー育成の功績を認められたものです。尚、今回の受賞者は県内ではわずか三人でした。

学校の美化に役立てて下さい。

丹精込めて 手づくりの ぞうきん贈る 町老人クラブ 嘉瀬支部



▲岡田生徒会長に手渡す白川さん(手前)と鳴海さん(後方)

「私たちお年寄りの手でできるものを何か地域に還元したい」と去る十一月十六日、町老人クラブ嘉瀬支部(木村金利支部長)で金木南中学校へは鳴海たねさん、白川ミツさんの二人が訪れ、岡田千臣同校生徒会長に手渡した。思わぬプレゼントに、岡田生徒会長、平川校長は「ほんとうにありがとうございます。校内の美化清掃に活用させていただきます。」と好意をとても喜んでいました。また鳴海さん、白川さんは「喜んでもらえてとてもうれし。私たちの手でできるものだったら、今後も続けていきたい」と善意のあたたかい声印象的でした。

作文発表した元気な子供たち



▲白川博順君  
(川倉小四年)



▲木村文映さん  
(嘉瀬小四年)



▲木田妃都美さん  
(喜良市小六年)



中央公民館で行なわれた町福祉大会

人のために役立つ豊かな人間性の育成を目指そうと去る十一月二十四日、金木町社会福祉協議会(花田一会長)主催による町社会福祉大会がお年寄りや福祉関係者ら約四百五十人が集り、中央公民館で盛大に行なわれました。

大会ではまず、白川博順君(川倉小四年)、木村文映さん(嘉瀬小四年)、木田妃都美さん(喜良市小六年)らが老人を題材にしたほのぼのとした内容の作文を発表。

このあと、花田会長のあいさつに続き長寿者と功勞者、および大口寄付者の方々に表彰状と感謝状が贈られました。引き続き、福祉協力校の活動発表が行なわれ、川倉児童館、嘉瀬小、川倉小がそれぞれ日頃一生懸命練習してきた舞踊、劇などを披露し、参加したお年寄りたちから盛んな拍手が送られていました。

また、第二保育所母の会とロビン洋装店より寄付された衣類の「チャリティバザー」も併設され、大いに

大勢  
スローガン

ともに支えあう在宅福祉の展開を  
健やかな子供をはぐくもう愛のひと声を

町社会福祉大会盛大に終了

賑わいをみせた今年の福祉大会となりました。

尚、表彰受賞者は次のとおりです。

▼県社会福祉大会表彰 江良義秋、桑田キセ  
▼県社会福祉大会感謝状 扇謡会(成田亀逸会長) 県共同募金会十周年奉仕功勞 中村利宗、白川昭男、今兼春 特別顕彰(九十五才以上の長寿者) 浅木似知、黒滝善之助、古川とみ  
▼特別表彰(大口寄付者) 金木社交ダンス研究会、金木ライオンズクラブ、扇謡会、田村雄三、津島俊雄、加藤良一、成田セチ、中村国江、ロビン洋装店  
▼社会福祉功勞者 荒閑照春、角田円造、中村勝雄、斉藤千万次郎、中谷文雄、石井洋子、鳴海興八、工藤義光、安田誠子、角田ちよ、葛西裕、山中美智子、工藤勇義、今由吉、工藤幸栄 工門 八十歳以上の長寿者夫婦 田助七・みへ、中西千次郎、ヤエ、伊藤久雄(死去)、キサ、沢田茂太郎、ソノ、泉谷豊次郎、ヨシヲ、工藤源三郎、トセ、原田敏雄、リン子、吉田長三郎、トセ、外崎惣五郎、たけ、山中利



▲大橋町長より感謝状を贈呈される片岡園長

火災予防意識の向上に寄与

金木  
幼稚園

幼年消防クラブへ

感謝状贈る

このほど、金木幼稚園(片岡八千雄園長)幼年消防クラブ(園児百二十人)へ、町から感謝状を贈呈されました。

これは、同消防クラブが昭和五十七年結成以来、多年にわたって町の火災予防意識の向上に寄与されてきた功績に対して贈られたものです。

税の豆知識

助・シテ、原田九仁四郎・シナ、今由太郎・力子、松川義一・イセ 米寿(八十八歳に達した長寿者) 加藤ツヨ、阿部重吉、高橋樫太郎、工藤喜代衛、小山西晴夫、対馬いん、笹木ソネ、白川カヨ、大佐賀三次郎、白川タヨ、工藤イソ、今と、山中イヨ

尚、長寿者表彰については十一月一日現在の調べによるものです。

保険税の決めかた

●医療費に応じて決める保険税

$$\text{金木町国保全体の医療費支払額} - \text{国からの補助} = \text{保険税}$$

このように保険税は、市町村ごとに決められるので、医療費の高い市町村ほど、保険税も高くなる計算です。

- 1 世帯ごとの1年間の保険税は次の合計額です。
- 所得割 世帯の収入に応じて計算します。
  - 資産割 世帯の固定資産に応じて計算します。
  - 均等割 加入者数に応じて計算します。
  - 平等割 一世帯いく



# 緑に親しみ…健全な心身養おう！

## 「緑の少年団」結成する

喜良市  
小学校



▲北農林一戸次長より団旗を授与される高橋団長



▲「緑の少年団」の制服姿で整列する児童たち

式ではまず、一戸吉治北  
地方農林事務  
所次長より高  
橋恭子団長同  
校教頭へヒ  
バをあしらっ  
た団旗を授与。  
続いて、奈良  
祐治校長が「こ  
れからも緑を  
大切にしよう  
——と呼び  
かけてあいさ  
つ。  
また、高橋  
団長は「ヒバ

緑を愛護し、守り育てる  
ことを通じて、社会に役立  
つ健全な心身を養おう——  
と去る十一月一日、喜良市  
小学校緑の少年団結成式が  
同校体育館で開かれた。  
この結成式は、県緑化推  
進委員会（会長＝原田一実  
県議会議長）が主催して行  
なわれたもので、同校五・  
六年の児童全員（五十六名）  
が対象となりました。

は成長するまでに長い年月  
がかかる。何事も一日、一  
日の積み重ねが明日への大  
木になる。」と生徒へ力強い  
ことを述べた。

このあと、来賓として出  
席した大橋町長、近藤教育  
長、一戸次長らが「結成式  
おめでとございます。緑  
は災害を防止したり、私た  
ちの生活にはなくてはなら  
ない酸素を作り出す機能が  
あり、とても大事である。」  
などと祝辞を述べ、最後に  
校歌を斉唱してこの日の式  
を終了した。

喜良市小学校が緑の少年  
団を結成されたことで、県  
内では四十九団体が組織さ  
れたことになりました。

あすなるヒノキⅡ「明日  
はヒノキになるんだ」の  
ように力強く、たくましく  
児童に成長してもらいたい  
ものです。



▲みごとな「女形」を演ずる中西さん

唄と踊りで楽しんでもら  
おう——と去る十一月七日  
町の舞踊愛好団体「花扇会」  
（中西清逸会長）が、中里・  
特養老人ホーム「静和園」のお  
年寄りたちを慰問しました。  
この日は、会員十名が削  
作舞踊、カラオケなど約一  
時間にわたって披露。多種  
多様の芸に入園者は大喜び



▲劇「わらしべ長者」での一場面～川倉小

自分の孫を見て  
いるようです…。  
老人と児童との交流を通  
じて、一人暮らし老人の孤  
独感を解消すると共に、社  
会福祉の増進を図ることを



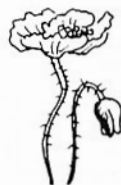
▲楽しいひとときを過ごしたお年寄りたち

目的に、川倉、金木両小学校  
ではこのほど一人暮らし老  
人を学習発表に招待し、お  
年寄りから大変喜ばられま  
した。  
これは、県社会福祉協力  
校に指定されている両校の  
「老人ふれあい事業の一環」  
として招待したもので、児  
童が日頃一生懸命練習して  
きた劇や合奏にお年寄りた  
ちは「自分の孫を見ている  
ようだ。一人で居る寂しさ  
を忘れてしまいそうです。」  
と喜んでいた姿がとても印  
象的でした。  
お昼には、あたたかいうど  
んなを、馳走さげ子供たち  
とのふれ合いの中で楽しい一  
日を過ごすことができました。

## 唄や踊りに大喜び！「花扇会」中里「静和園」慰問する

でした。

この後一行は「喜んでも  
らえてとでもうれし。ぜ  
ひまたこの機会をもちたい」  
と再会を誓い合っていました。  
同会では、昭和五十二年  
以来毎年同園を慰問してお  
ります。





▲山内副知事より表彰される白川幸雄会長

今年度の野菜優良生産集団を表彰した「昭和六十三年度青森県野菜生産額倍増推進大会」が去る十一月十一日、青森県農業会館大会議室において開催され、金木農協やさい生産部会（白川幸雄会長）が見事、青森県知事賞と東北農政局長賞を受賞されました。

同部会は、これまであつたかぼちゃ部会、にんにく部会を統廃合して、昭和五十五年やさい部会（構成農家数五〇戸、五専門支会）としてスタート。現在は百五戸の構成農家とかぼちゃ、ながいも、にんにく、ばれいしょ、とまと、はくさい、軟弱やさいの八専門支会までになるほど組織を拡大し、米にかわる野菜づくりとしての生産基盤を醸成してきました。

今回の主な受賞理由は、①えびすかぼちの銘柄産地確立 ②目揃い会の実施 ③荷受時検査の実施 ④遊休畑解消のための利用現況図作成などが認められたものです。

県内では五十八審査団体のうち、同会他わずか六団体の受賞でした。

作る野菜から売

## 金木農協やさい生産部会 みごと 青森県知事賞 東北農政局長賞に輝く!!

る野菜”へ、また消費者ニーズの多様化に対応した生産・流通体制の確立が今後大いに期待されます。

数々のタイトルを獲得し、棋界に君臨している「大山康晴講演会」（金木町商工会主催）が去る十一月二十二日、金木町商工会館大ホールで開催されました。

この日は「将棋の大山名人を一目みよう」と熱心な将棋ファンで会場がいっぱいとなりました。

演題は「人生に勝つ」。棋界にあって、これまで自分が百二十四回優勝という偉業を達成できた「将棋」を通しての人生の教訓を講



▲講演する大山名人

演。主な講演内容は――

①自分が百二十四ものタイトルを獲得できたのは、他の棋士より「冷静さ」を保持できたこと。人生においても何事も冷静に判断し、実行することが大事。

②対局を終えた後、今日は完璧だった――ということは一度もなかった。必ず反省、次の対局への不安が残る。しかし、一つのことにこだわることなく人生では「気持ちの切り替え」も必要である。

③親元に居ると人はわがままになる。そういう意味で自分は師匠の所に九年三カ月お世話になった。しかし、一度も将棋の技術は教えてもらえなかった。「これからプロで生きていくためには、他人に頼ることなく、自分の考えが大事」と師匠の指導方針があったからだ。

④長い将棋生活の中で思

将棋  
十五世  
名人

## 日頃から心身を正す… 大山康晴講演会

これができれば人生においても成功する

つまり、人生においてもこつこつと努力を重ねる人こそが必ずや成功すると思う。

⑤小事を言ってくれる人が好きだ。お世辞で人が賞賛されたとしても、最終的には本人のためにならないからだ。

⑥「時間を守る」。これも長い人生の中では大事。

⑦人は常に目標、自覚をもち、自分がやれることは積極的に頑張る意気込みも必要である。

師匠の言葉で一生忘れることのできないこととは「心身に正せ」ということでした。これができる人こそはじめて人生に功する――

「師匠の教え」（その1）

### 15世名人「大山康晴」略歴

- ◎大正12年、岡山県倉敷市に生まれる。（現在65才）
- ◎昭和25年初の公式タイトル獲得。
- ◎昭和27年、29才の若さで名人となる。
- ◎昭和31年には「永世名人」の資格を得、同51年現役のまま「15世名人」を襲位した。優勝124回。
- ◎昭和60年度将棋大賞「特別賞」受賞。
- ◎昭和61年、63才の高令記録で名人戦挑戦権獲得。
- ◎昭和62年、第3回東京都文化賞、菊池寛賞受賞。

―という教えだった。

《師匠の教え》（その2）

五十年余りの道一筋に歩いてきましたが、師匠の言葉で今一つ忘れることのできないのは「勉強、努力も大事だが、何よりも信頼される人になること」というのです。人間の弱さ、悲しさといまじょうか、将棋が強くなると、とかく威張りたがるもの。威張った最後人は信用してくれない――という教えだった。

そういうわけで、師匠からは直接将棋の技術は教わらなかったが、人づくりの指導を図りしれない程うけた――と、しみじみかみしめていたのがとても印象的でした。

# 金木病院カルテ ③

## 胃や腸のポリープ

公立金木病院 外科医長 唐牛 忍

「ポリープ」と言っても最近では特に珍しい言葉ではなくなってきました。一口にポリープと言ってもその出来る臓器や、大きさ・形・色なども多種多様で、また良性・悪性の違いもあります。今回特に胃腸のポリープについて述べてみることにします。

ポリープとは一般に胃や腸の内腔に隆起した病変の総称です。その形は図1のように4型があり、I型のように扁平で茎の部分のないものからIV型のようにきのこ状にはっきりと茎を持つものまであります。出来る部位では胃が最も多く、次が大腸で、小腸には比較的まれです。ポリープは胃や大腸の透視（X線写真）の際に偶然に見つかることが多く、特有の症状はありませんが、ポリープからの出血があると大腸では血便

となり、胃では便が黒色になります。しかし症状が無いか軽いからといって放置しておくのは良くありません。少なくとも1年に1回は胃や腸の透視または内視鏡（いわゆるカメラ）検査、さらに便の潜血検査などを受けなければならない。特にポリープの大きさが1cm以上では癌化の可能性もあり、2cm以上ではそれが高率（50%位という報告もあります）となります。

**四十歳を過ぎたら、年に一度は必ず検査しよう！**

最近では内視鏡の装置自体や技術も種々改良され、検査にあまり苦痛を伴わなくなりなりました。2cm以内で図1のIII、IV型のものなら内視鏡でポリープの茎の部分に高周波をかけ焼き切らせて取ってしまうことも可能です（図2）。そしてその取ったものを顕微鏡で検査（大学に送るため結果が出るのに7、10日かかる）して、もし悪性ならば嚴重な経過観察（半年に1回位の検査）か、必要な場合は手術しなければなりません。ただしこの場合もほとんどの場合が早期癌ですので手術は非

常に短い時間で済みます。いずれにしても40歳を過ぎたら症状の有無にかかわらず年に一度は胃や腸の検査を受けるべきで、もしポリープがあると言われても医師の指示を守っていれば左程怖い病気ではないことをつけ加えておきます。



図1 ポリープの形態

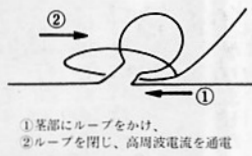


図2 内視鏡的ポリープ切除  
①茎部にループをかけ、②ループを閉じ、高周波電流を通電

### 戸籍の窓

十一月届出

おめでとう

鈴木 慧 (英明) 嘉瀬 遼 (英明)

## はじめまして



けい 慧ちゃん

11月9日生まれ  
体重 2,760グラム

嘉瀬上古町 鈴木英明さんの次男(左)3男(右)



りょう 遼ちゃん

11月9日生まれ  
体重 1,760グラム



ありさ 亜莉沙ちゃん

11月12日生まれ  
体重 3,830グラム

嘉瀬上派立 蛸島浩二さんの長女

### おしあわせに



小山内哲也(富三郎)車力村 秋元江利子(定光)嘉瀬

蛸島亜莉沙(浩二)嘉瀬  
桑田 明美(優)金木  
沢田由紀子(公)嘉瀬  
野宮 龍樹(信昭)金木  
横山 拓也(登)金木  
須藤 僚太(智光)嘉瀬  
三上 竜郎(高房)金木

小山 浩(榮三郎)青森市  
澤田 惠智子(武光)喜良市  
鹿内 寿広(秀雄)稲垣村  
藤元 康子(栄)金木  
山中 仁(清治)嘉瀬  
遠藤 友子(源一)東京都  
角田 博修(定義)蟹田町  
五代 儀文子(紀男)喜良市  
泉谷 卓哉(勝彦)川倉  
古川 富士子(正徳)常盤村  
原田 寿昭(壽恵智)森田村  
吉崎みゆき(三太郎)大東ヶ丘  
古川 秀忠(忠義)喜良市  
森 ゆかり(鍋雄)埼玉県

係から  
一月月は元旦に発行されますので、「戸籍の窓」十二月届出分は二月号に掲載します。ご了承下さい。

おわび  
金木だより十一月号中、「おしあわせに」の婚姻の中で野宮寛さん(金木)が野呂寛に、また朝野球結果報告の中で松橋真さんが橋橋真に、交換留学生メガンの写真説明がメガになつていました。

尾野 勝則(愛丸)車力村  
伊藤 益江(市太郎)嘉瀬  
佐々木 一成(悦三)中里町  
野宮 伸子(伸治)金木  
太田 貢(秀雄)木造町  
木下 則子(正義)嘉瀬  
おくやみ  
田村 礼子(25歳)金木  
吉田 清輝(60歳)金木  
荒関 や多(79歳)金木  
大橋 和子(37歳)喜良市  
尾野 長一(79歳)嘉瀬  
白川 勝雄(72歳)金木  
伊藤 久雄(82歳)金木  
工藤 キエ(85歳)喜良市  
今 修三(57歳)金木  
原田 兼水(68歳)嘉瀬  
大橋 忠雄(83歳)金木